

平成27年度事業報告書

[概 況]

我が国の農業は、国民生活に不可欠な食料等を供給するとともに、地域経済や文化を支え、さらには環境保全等にも役立つ重要な産業であるにもかかわらず、農業労働力の量的・質的な低下、耕作面積の減少、集落機能の低下、輸入農産物の増大、生産資材等の上昇など多くの課題を抱え、農業生産が年々縮減している状況にあります。

国は農業を成長産業として位置づけ、食料・農業・農村基本計画において様々な農業改革に取り組んでいるところですが、農業・農村政策の見直し内容や農協改革、さらにはTPP交渉の大筋合意などからは、農業・農村を取り巻く環境は依然として厳しいものと思われまます。

こうした状況ではありますが、平成27年度の当センターの諸事業につきましては、会員をはじめ関係機関・団体、農業者等のご支援ご協力の下に、職員一丸となって取り組んでまいりました。

主要農作物等の原種・種子生産供給事業につきましては、盆過ぎからの天候不良によりまして一部品目で計画数量を確保できない状況となりましたが、全体的にはほぼ需要数量を確保することができました。野菜種子等の生産販売事業につきましては、生産面では一部減収はあったものの需要に即した数量を確保できましたが、販売面では主力品目であるキャベツ・野沢菜・レタスの需要が減少傾向にあることから計画・前年を下回る結果となりました。果樹原穂木等の生産販売事業につきましては、県外需要が減少しているものの新品種の導入等に伴い県内需要が増加したため、計画を上回る結果となりました。きのこ母菌等生産販売事業につきましては、第5期事業(平成25～27年)の計画に沿った効率的な事業運営と母菌の安全・安定供給ができ、さらには第6期事業に向けた検討を行いました。経営基盤を支える基本財産等の運用につきましては、国債等を中心とした安全かつ効率的な運用に努め、計画どおりの運用益を確保することができました。

[各部・事業別の実施状況]

1. 総務部

(1) 総務関係

ア 基本財産の運用については、基本財産運用規程及び運用計画に基づき、長野県信連の定期貯金550万円及び20年利付国債5億円・30年利付国債5億円により、安全かつ効率的な運用に努めました。

また、特定資産等(減価償却引当資産等)その他財産の運用についても、基本財産の運用に準じて、長野県信連の定期貯金及び地方債・政府保証債による運用を行いました。

その結果、どちらも計画どおりの運用益を確保することができました。

イ 公益目的支出計画については、次のとおり計画を上回る実施となりました。(平成25年度より実施・3年目)

○ 実施事業等 主要農作物原種の生産供給・遺伝資源種子等の保存・きのこ母菌等の生産販売(3事業)

○ 26年度期末公益目的財産残額 2,187,973,568円

○ 27年度公益目的収支差額(赤字額) △ 30,969,003円(計画対比 4,099,003円
・前年対比 △ 125,027円)

- 27 年度期末公益目的財産残額 2,157,004,565 円
- 実施予定残り期間 81 年間
- 完了予定年月日 平成 109 年 3 月 31 日

ウ 固定資産については、耐用年数を超過し老朽化が進んでいた園芸種苗増殖施設（長野市松代町）の駐車場等のアスファルト舗装や種子貯蔵庫の冷蔵・除湿設備、冷蔵庫設備、乗用トラクター、また各業務で使用するパソコンの更新・取得を行いました。

（2）遺伝資源等保存事業

ア 遺伝資源保存施設の永年貯蔵庫において、受託方式による植物遺伝資源種子及び長野県農業関係試験場からの預り種子約 3,700 点の保存管理を行いました。

また、長野県の農業関係試験場において新品種の育成等に用いる種子の入出庫を行いました。

イ 同施設の中・長期貯蔵庫において、主要農作物種子の生産に用いる原種等の貯蔵及び入出庫を行いました。

2. 農産部

（1）主要農作物原種生産供給事業

ア 長野県の生産振興方針等に基づく採種計画に連動した原種生産計画を策定し、直営及び栽培管理委託を含め厳正な管理のもと高品質原種生産に努めました。

また、原種生産ほ場におけるほ場審査及び現地指導会のほか、生産後の反省検討会の開催により栽培管理受託者の技術向上に努めました。

品質管理においては、生産した 11 品種・14 点について DNA 分析による品種鑑定を行い、純度の高い原種供給に向けた取り組みも行いました。

イ 水 稲

種子生産計画と連動した需要見通しをもとに、直営・栽培管理委託を合わせ生産面積 207 a を設置し、栽培管理の徹底による高品質な原種生産に努めた結果、計画比 97% の 9.6 t を確保し、備蓄原種を含め 9.0 t の供給を行いました。

ウ 麦

種子生産計画と連動した原種生産計画に基づき、直営・栽培管理委託を合わせ生産面積 172 a の設置を行い、計画比 107% の 7.1 t を確保し、備蓄原種を含め 6.8 t の供給を行いました。

エ 大 豆

種子生産計画と連動した原種生産計画に基づき、栽培管理委託により生産面積 120 a の設置を行い、計画比 100% の 1.8 t を確保し、備蓄原種を含め 1.8 t の供給を行いました。

オ そ ば

種子生産計画と連動した原種生産計画に基づき、栽培管理委託により生産面積 320 a の設置を行い、計画比 63% の 1.8 t を確保し、備蓄原種を含め 1.8 t の供給を行いました。

(2) 主要農作物種子生産事業

ア 長野県、JA全農長野、種子場農協及び関係機関と連携し、主要農作物の生産振興方針と需要動向に即した採種計画を策定のもと、作柄調査等による種子生産見込量の把握を行うなど需要数量の確保に努めました。

また、採種技術研修会や採種ほ現地指導会を開催し、意識の高揚を図り、高品質種子の確保に努めました。

その他、自然災害等の緊急時の対応と種子安定供給のため、延べ水稲 108 t・麦 113 t・大豆 16 t・そば 8 tの種子備蓄を行い、一部を活用しました。

イ 水 稲

4月下旬以降6月上旬まで高温傾向で推移し、田植え後の活着は良好でした。7月中旬から8月上旬も平年と比べ高温となり日照時間が多く推移したため出穂期も早まり、莖数が多くなりました。その後は9月上旬まで低温となり、曇雨天が続いたため日照時間がかなり少なく推移したことから登熟が進まず、収穫時期が遅くなりました。こうした状況から、県内の作況指数はやや不良の97となりました。

種子生産については、登熟期間の低温が主因と考えられる細身の発生等により、一部の地域や品種において契約数量未達となり、生産計画 1,220 t に対して 1,212 t (計画比 99%)の確保となりました。

種子供給については、米の備蓄在庫の増大にともない、引き続き生産調整目標達成に向けた取り組みが進められており、主食用米から非主食用の飼料用品種の需要が増加しているものの全体では減少傾向であり、1,058 t (前年比 97%)が供給されました。

ウ 麦

播種期から11月までは比較的温暖に推移し、12月は低温で積雪も多い状況であったものの、生育は概ね良好となりました。3月に入り平年並みから高温で推移したため出穂が早まりました。また登熟期間中の高温等により収穫時期も早まりましたが、莖数が少なかったことや4月下旬以降の干ばつ等の影響により、平均収量比では大麦で99%、小麦で94%となりました。

種子生産については、作付動向を踏まえ、買増しや転用種子の確保により、生産計画 263 t に対して 305 t (計画比 116%)の確保となり、備蓄種子を含め 247 t (前年比 103%)が供給されました。

エ 大 豆

播種後、一部で湿害の影響がみられたものの、天候に恵まれ生育は概ね順調に推移し、着莢も良好となりました。梅雨明け以降8月上旬までは高温少雨による干ばつ傾向となりましたが、その後は一転し低温多雨となり、成熟遅延傾向となりましたが、平均収量比では104%となりました。

種子生産については、成熟期後半の降雨により一部の地域でしわ粒が多発する状況となり、一部の品種で契約数量を下回ったものの、全体では生産計画 62 t に対して 68 t (計画比 109%)の確保となりました。

また、27年度作付け用の種子については、65 t (前年比 102%)が供給されました。

オ そ ば

夏そばは、播種後の湿害もなく、また生育期間中の気温も平年を上回り順調に経過したことから、契約数量の確保ができました。

秋そばは、播種期に降雨が殆どなく乾燥条件下であったものの、出芽は良好でした。8月中旬から9月上旬にかけてまとまった降雨があり、一部のほ場で倒伏が見られました。また、開花期間中の低温や降雨により訪花昆虫の飛来が少なく結実が劣ったほか、登熟が進まず収穫時期も遅延するなかで低収となり、平均収量比では83%となりました。

種子生産については、既存の品種や導入3年目の「長野S8号」の種子需要動向を踏まえつつ採種に取り組みましたが、「信濃1号」は大幅な低収により計画数量の確保ができない状況となり、また「長野S8号」は需要増が見込まれるなか、転用種子も含め前年並みの数量の確保にとどまりました。そば全体では生産計画37tに対して22t(計画比60%)の確保となりました。

また、27年度作付け用の種子については、31t(前年比77%)が供給されました。

3. 園芸部

(1) 野菜等種子生産事業

ア 委託採種者の高齢化に対応するため、試験研究機関・関係団体の指導協力を得て、採種技術研修会や現地検討会を開催するなど、新たな採種農家の育成に努めました。

また、野菜種苗の安定生産に向けた採種技術の確立を進めるとともに、直営採種事業への取り組みを強化し、安定採種に努めました。

イ キャベツについては、委託採種で開花から登熟期の天候に恵まれたこともあり増収となりましたが、直営温室採種では開花期間中と登熟期の高温による稔実不良の発生等により、計画比63%の大幅な減収となりました。

ウ 野沢菜については、開花期間中の天候に恵まれ受精良好でしたが、一部のほ場で収穫時期の長雨による品質低下が発生したため、計画比86%の生産となりました。

エ レタスについては、一部のほ場で病気の発生がみられたものの、開花から登熟期の天候に恵まれたことや採種技術の改良により増収となり、計画比114%の生産となりました。

オ 野菜等種子全体では、研修会の開催や現地巡回指導等を通じて採種技術の向上に努めた結果、備蓄種子を合わせ全品種とも概ね需要に即した数量を確保することができました。

(2) 野菜等種子販売事業

ア キャベツについては、即戦力となる有望後継品種がない状況から減少傾向が続いております。また、野菜販売価格の持ち直しはあったものの、高齢化等による県内作付面積の減少や大手種苗会社による新品种の販売攻勢等により、前年に引き続き苦戦を強いられました。

イ レタスについては、レタス根腐病(レースⅠ)抵抗性品種の「シナノホープ」は、中信地域を主とする会員・生産者から引き続き評価をいただくことができましたが、東信地域を主とする晩抽性が強く形質の優れた品種である「サマーエース」やレタス根腐病(レースⅠ・Ⅱ)複合抵抗性品種の「シナノパワー」などは、大手種苗会社による根腐病(レースⅡ)耐病性新品种の販売攻勢等により、大幅な減少となりました。

ウ 野菜等種子全体では、主力品目であるキャベツ・野沢菜・レタスの需要の減少により、計画金額比 66%となりました。

(3) 野菜等苗生産販売事業

ア イチゴ原苗については、直営増殖に対する会員・生産者からの需要も高いことから、計画金額比 110%となりました。

イ わさび苗については、青果わさびの需要の減少により販売数量が年々減少しておりますが、安定供給に向けて原原苗を更新し、高品質苗の生産に取り組んだことから、計画金額比 103%となりました。

ウ 野菜等苗全体では、計画金額比 107%となりました。

(4) 果樹原穂木等生産販売事業

ア 果樹原穂木については、当センター母樹園での長野県職務育成品種及びウイルスフリー品種の生産及び安定供給に努めました。

イ 種苗法等法令遵守のため、会員の苗木生産ほ場の実態調査や生産者段階での種苗法遵守啓発チラシを作成し、会員を通じて配布を行いました。

ウ 果樹種苗事業全体では、りんご新品種「リンゴ長果 25」やワインブドウ用台木の原穂木需要の増加により、計画金額比 123%となりました。

(5) 園芸種苗事業全体では、計画金額比 71%、前年比 84%の販売となりました。

(6) きのご母菌等生産販売事業

ア 「第 5 期(平成 25~27 年度)きのご原種菌生産供給事業」の計画内容に基づき、製造等業務委託先である長野県農村工業研究所をはじめ、J A 全農長野及び J A 種菌センターと連携を図り、また長野県野菜花き試験場菌茸部の協力を得るなかで、高品質母菌の安定供給に努めました。

また、第 5 期事業の最終年度にあたるため、第 6 期事業について、機能強化・高度化へ向けた検討を行いました。

事業運営については、母菌の販売代金に加え、長野県からの支援や J A 全農長野及び各 J A からの負担金等により、円滑に行うことができました。

イ 生産した母菌について、J A 種菌センター、野菜花き試験場及び農家によるモニター栽培を実施し、生産現場に近い栽培環境下において母菌の変異・異変の情報を早期に把握し対応するなど、母菌の品質管理に努めました。

ウ えのきたけ母菌については、長野県農工研育成の「G-6号」や「iQ2」、野菜花き試験場育成の「長菌 17号(シナノアーリー)」の生産を行い、1,332 本を販売しました。

また、ぶなしめじ母菌については、長野県農工研育成の「NN-11・12」の生産を行い、892 本を販売しました。

その他、野菜花き試験場育成のバイリング「シナノ淡雪」等を合わせ、全体では 2,532 本を生産・販売し、計画数量比 112%・計画金額比 109%となりました。

4. 種子事故・災害等補填事業

生産または販売を行う種苗について、気象災害や不慮の事故により損害が発生した場合の損失や、主要農作物種子の備蓄残量等の処理にともなう差損を補填するため、種子事故・災害等補填事業要領及び要項に基づき、準備金の積立て及び補填金の支払いを行いました。

(1) 準備金の積立て

ア	主要農作物原種・種子共助	4,900,845 円
イ	園芸種苗共助	301,465 円
ウ	主要農作物種子残量処理	26,724,290 円
エ	計	31,926,600 円

(2) 補填金の支払い

ア	主要農作物原種・種子共助	1,278,188 円
	大豆種子生産における減収補填, 水稻・大豆種子の発芽異常にともなう代替種子・付帯費用補填	
イ	主要農作物種子残量処理	41,892,522 円
	水稻種子の残量処理にともなう差損補填	
ウ	計	43,170,710 円

[事業報告書 別表]

平成27年度種苗等生産供給・販売実績

1. 主要農作物等原種

(1) 水稻原種

種類	品種名	生産計画	生産実績		供給実績	備考
			数量	計画比	数量	
うるち	コシヒカリ	kg 6,480	kg 6,480	% 100	kg 6,673	供給実績は備蓄原種の供給を含む (飼料イネ)
	あきたこまち	960	1,040	108	1,020	
	ひとめぼれ	380	395	103	160	
	ゆめしなの	0	0	—	30	
	きらりん	0	0	—	43	
	天竜乙女	480	385	80	77	
	ふくおこし	290	255	87	48	
	風さやか	480	425	88	338	
(小計)	9,070	8,980	99	8,389		
もち	カグヤモチ	0	0	—	79	
	オラガモチ	0	0	—	28	
	もちひかり	290	215	74	168	
	モリモリモチ	190	145	76	50	
(小計)	480	360	75	325		
酒米 (醸造用米)	美山錦	0	0	—	285	
	ひとごごち	190	210	110	75	
	金紋錦	190	125	65	20	
	(小計)	380	335	88	380	
合計	9,930	9,675	97	9,094		

(2) 麦原種

種類	品種名	生産計画	生産実績		供給実績	備考
			数量	計画比	数量	
大 麦	ファイバースノウ	kg 900	kg 910	% 101	kg 500	供給実績は備蓄原種の供給を含む 県農業試験場より譲受
	シュンライ	1,760	1,650	93	1,010	
	東山皮糯109号	0	0	—	450	
	(小計)	2,660	2,560	96	1,960	
小 麦	ハナマンテン	350	420	120	1,020	
	シラネコムギ	1,400	1,400	100	780	
	しゅんよう	1,050	1,470	140	920	
	ユメセイキ	460	410	89	640	
	ゆめかおり	0	0	—	440	
	ゆめきらり	700	875	125	1,080	
	(小計)	3,960	4,575	115	4,880	
合計	6,620	7,135	107	6,840		

(3)大豆原種

種類	品種名	生産計画	生産実績		供給実績	備考
			数量	計画比	数量	
大豆	すずろまん	kg 0	kg 0	% —	kg 12	供給実績は備蓄原種の供給を含む
	ギンレイ	150	150	100	200	
	ナカセンナリ	975	975	100	1,012	
	つぶほまれ	225	225	100	177	
	すずほまれ	450	450	100	440	
合計		1,800	1,800	100	1,841	

(4)そば原種

種類	品種名	生産計画	生産実績		供給実績	備考
			数量	計画比	数量	
そば	蕎麦信濃1号	kg 2,000	kg 1,125	% 56	kg 1,328	供給実績は備蓄原種の供給を含む
	タチアカネ	140	135	96	0	
	長野S8号	800	585	73	550	(信州ひすいそば)
合計		2,940	1,845	63	1,878	

2. 主要農作物等種子

(1)水稲種子

種類	品種名	生産計画	生産実績		供給数量	備考
			数量	計画比		
うるち	コシヒカリ	kg 911,520	kg 903,020	% 99	kg 815,692	供給数量は備蓄種子の供給を含む (飼料イネ)
	あきたこまち	143,880	139,100	96	110,912	
	ひとめぼれ	20,640	20,640	100	14,980	
	ゆめしなの	5,180	5,180	100	3,616	
	きらりん	5,180	5,180	100	2,276	
	天竜乙女	9,600	9,600	100	6,192	
	ふくおこし	5,760	7,040	122	6,304	
	風さやか	37,440	40,000	106	32,884	
(小計)	1,139,200	1,129,760	99	992,856		
もち	カグヤモチ	10,800	10,520	97	5,876	
	オラガモチ	3,120	3,120	100	1,228	
	もちひかり	21,160	20,620	97	15,120	
	モリモリモチ	5,400	6,000	111	5,720	
(小計)	40,480	40,260	99	27,944		
酒米 (醸造用米)	しらかば錦	960	940	97	876	
	美山錦	27,840	29,260	105	25,932	
	ひとごごち	9,600	10,140	105	9,464	
	金紋錦	2,400	1,920	80	1,844	
(小計)	40,800	42,260	103	38,116		
合計		1,220,480	1,212,280	99	1,058,916	

(2)麦種子

種類	品種名	生産計画	生産実績		供給数量	備考
			数量	計画比		
大 麦	ファイバースノウ	kg 20,700	kg 20,975	% 101	kg 18,450	供給数量は備蓄種子の供給を含む
	シュンライ	55,350	67,575	122	61,150	
	(小計)	76,050	88,550	116	79,600	
小 麦	ハナマンテン	25,200	31,290	124	29,700	
	シラネコムギ	35,010	44,100	125	23,220	
	しゅんよう	32,400	36,000	111	36,000	
	ユメセイキ	14,010	24,000	171	18,840	
	ゆめかおり	17,490	18,900	108	18,540	
	ゆめきらり	63,000	63,000	100	41,700	
(小計)	187,110	217,290	116	168,000		
合計		263,160	305,840	116	247,600	

(3)大豆種子

種類	品種名	生産計画	生産実績		供給数量	備考
			数量	計画比		
大 豆	すずろまん	kg 600	kg 220	% 36	kg 460	供給数量は備蓄種子の供給を含む
	ギンレイ	7,500	7,420	98	5,400	
	ナカセンナリ	36,360	43,260	118	43,820	
	つぶほまれ	4,360	4,240	97	5,900	
	すずほまれ	13,820	13,240	95	10,280	
合計		62,640	68,380	109	65,860	

(4)そば種子

種類	品種名	生産計画	生産実績		供給数量	備考
			数量	計画比		
そ ば	しなの夏そば	kg 2,000	kg 2,025	% 101	kg 1,440	供給数量は備蓄種子の供給を含む
	蕎麦信濃1号	25,000	13,793	55	23,310	
	タチアカネ	1,755	608	34	675	
	長野S8号	8,483	6,143	72	6,278	(信州ひすいそば)
合計		37,238	22,568	60	31,703	

3. 野菜等種子

種 類	品 種	生産実績		販売実績			
		数量	計画比	数量	計画比	金額	計画比
		ℓ	%	ℓ	%	千円	%
キャベツ	Y R S E 他	77.9	63	66.3	76	12,429	78
野沢菜	ニューシナノ他	649.6	86	303.6	67	2,666	63
レタス	シナノホープ他	204.1	114	80.3	63	25,759	56
パセリー	洗馬系	15.0	188	22.5	56	559	56
だいこん	戸隠おろし他	18.3	47	13.4	54	420	51
トマト	なつのしゅん他	14.4	96	26.4	98	5,646	97
ピーマン	ベルホープ他	27.3	98	32.2	81	7,086	81
アスパラガス	どっとデルチェ他	24.7	206	1.6	53	224	56
えんどう	さやたろう	61.4	246	10.1	101	41	103
色大豆原種	華大黒他	1,095.3	97	842.5	75	1,033	74
(小計)		2,188.0	95	1,398.9	72	55,863	66
		ml	%	ml	%	千円	%
トルコギキョウ	長花交35号他	1.3	27	1.3	27	36	33
		g	%	g	%	千円	%
せんぶり	みまき1号他	420	93	420	93	110	110
合 計						千円 56,009	% 66

4. 野菜等苗

種 類	品 種	苗形態	生産実績	販売実績			
			数量	数量	計画比	金額	計画比
			本	本	%	千円	%
イチゴ原苗	サマープリンセス他	鉢苗	17,728	17,728	111	4,635	110
わさび	長・野23号	プラグ苗・鉢苗	23,480	23,480	102	3,126	103
採種用原苗	レタス他	鉢苗	2,862	2,862	102	124	103
合 計			44,070	44,070	105	7,885	107

5. 果樹原穂木他

種 類		品 種	生産実績	販 売 実 績			
			数 量	数 量	計 画 比	金 額	計 画 比
原 穂 木 穂 木	り ん ご な し ぶ ど う も も ネ ク タ リ ン あ ん ず プ ル ー ン す も も ぶ どう 台 木 他	シ ナ ノ ス イ ー ト 他	kg 124.0	kg 124.0	% 113	千 円 1,056	% 142
		サ ザ ン ス イ ー ト 他	1.0	1.0	50	7	37
		ナ ガ ノ パ ー プ ル 他	0.0	0.0	0	0	0
		な つ っ こ 他	7.0	7.0	233	43	226
		サ マ ー ク リ ス タ ル	1.0	1.0	50	8	42
		信 州 サ ワ ー 他	4.5	4.5	113	8	57
		オ ー タ ム ク イ ー ン 他	1.0	1.0	33	8	27
		ス モ モ 長 果 1	2.5	2.5	50	27	50
		5 B B 他	178.0	178.0	356	671	367
(小 計)			319.0	319.0	175	1,828	165
果 樹 証 紙			枚 61,720	枚 61,720	% 100	千 円 2,000	% 101
合 計						千 円 3,828	% 123

6. きのこ母菌他

種 類		品 種	生産実績	販 売 実 績				
			数 量	数 量	計 画 比	金 額	計 画 比	
母 菌	え の き た け	長 野 農 工 研 G - 6 号	本 420	本 420	% 86	千 円 1,564	% 86	
		長 野 農 工 研 i Q 2	555	555	89	2,068	89	
		長 菌 1 7 号 (シ ナ ノ ア ー リ ー)	357	357	162	1,330	162	
		計	1,332	1,332	100	4,962	100	
	ぶ な し め じ	N N - 1 1	53	53	100	197	99	
		N N - 1 2	839	839	96	3,125	96	
		計	892	892	96	3,322	96	
	パ イ リ ン グ	シ ナ ノ 淡 雪	4	4	-	15	-	
	(小 計)			2,228	2,228	99	8,299	98
	原 々 種 菌	ぶ な し め じ	N N - 1 2	304	304	-	878	-
合 計			2,532	2,532	112	9,177	109	